東日本大震災復興支援シンポジウム
～復興を加速させるために被災地の今を語る～

岩手県大船渡市における被災地復興の現状と今後の展望

平成25年11月29日　於：三菱ビルコンファレンススクエアM＋

大船渡市副市長　角田陽介

１）自己紹介

角田陽介（つのだようすけ）

昭和48年生まれ（39歳）広島市出身
平成8年東京大学工学部都市工学科卒業
同年建設省（現：国土交通省）入省。
国土交通省においてまちづくりに関する仕事を中心に
担当し、平成24年4月より大船渡市副市長。
東日本大震災後は、宮城県亘理町・山元町を中心に、
被災地の自治体の復興計画の策定等を支援。
現在は家族4人で大船渡に居住しながら、
東日本大震災からの復興に当たっている。

07122 (アットマーク) city.ofunato.iwate.jp

http://facebook.com/tsunodayousuke（友達申請は実際会った方のみ）

Twitter　@ tsunodayousuke

２）大船渡市の被災状況等

■大船渡市の位置・概要

- ■岩手県沿岸南部に位置し、気候は温暖
- ■人口：39,202人（H25.10末現在）
- ■面積：323k㎡
- ■世界三大漁場である三陸沖を活かした水産業が基幹産業の一つ
- ■大船渡港は、県内初の国際貿易定期コンテナ航路を開設。震災で休止したが、国際フィーダー航路（京浜港へ）により再開開始。

２）大船渡市の被災状況等

□**人的被害**(H25.9.30現在)

死亡者：340人（発見場所で計上）

行方不明者：79人

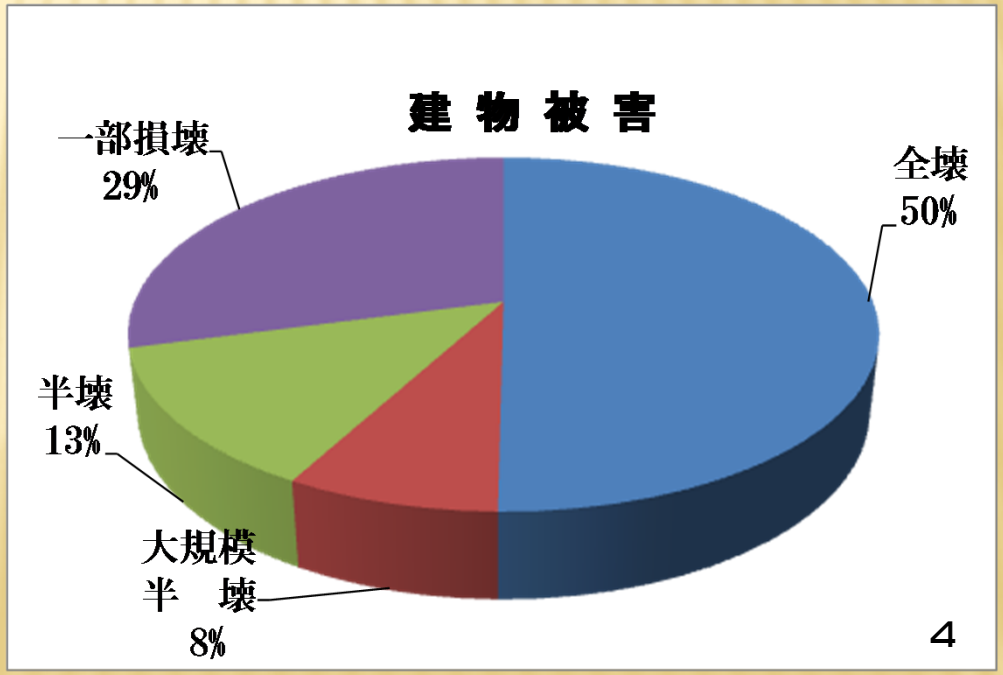
□**建物被害**（5,556世帯）(H25.9.30現在)

全壊 2,789

大規模半壊 431

半壊 717

一部損壊 1,619



２）大船渡市の被災状況等

□応急仮設住宅

市内37ヵ所に1,801戸を整備

（H25.10.29現在、1,622戸入居、

空室142戸、派遣職員等36戸利用）

H23.3.25～着工、H23.7.28全て完成

□民間賃貸住宅（みなし仮設住宅）

家賃などを県が負担

□住宅応急修理

修理により、自宅での生活が可能となる世帯を支援

《応急仮設住宅の整備状況》

地　区	戸　数	箇所数
盛	91	5
大船渡	357	6
末　崎	313	5
赤　崎	240	7
猪　川	439	8
立　根	120	1
綾　里	90	1
越喜来	146	3
吉　浜	5	1
計	1,801	37

２）大船渡市の被災状況等

■仮設店舗の建設

H23．８．23～　建設開始

完成した施設から、順次、
施設を貸与して利用開始

□整備概要

・建設地　80ヵ所
・区画数　493区画
・形　態　店舗、事務所、
　　作業場など

《仮設店舗の整備概要》

地　区	建設地	区　画
盛	4	14
大船渡	27	195
末　崎	9	87
赤　崎	13	81
綾　里	24	99
越喜来	3	17
計	80	493

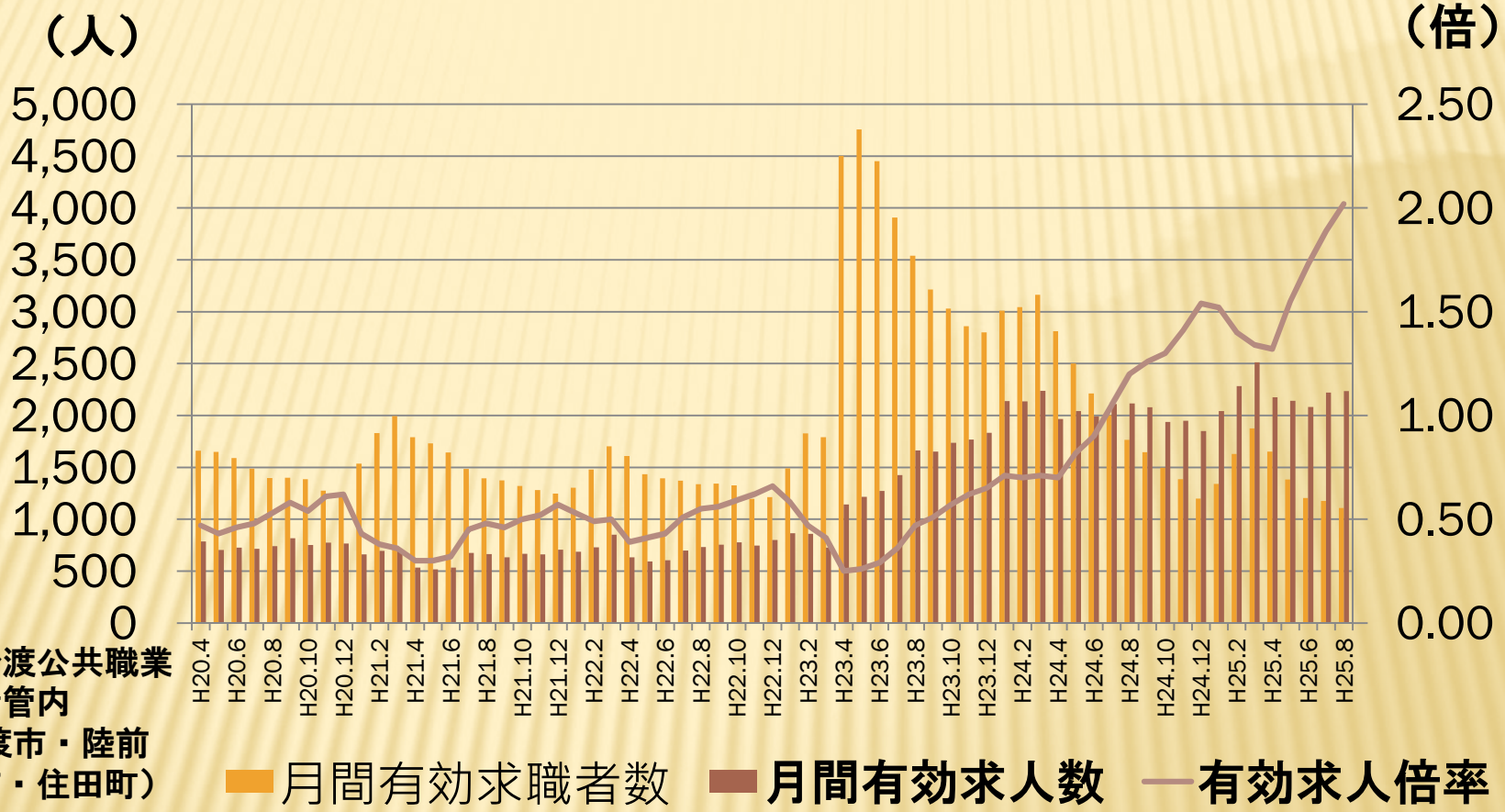
３）大船渡市のいま

■大船渡市の人口の推移

H23は震災による自然減、社会減が顕著
しかし、H22の社会減が、H24は社会増に転じている

		社会増減			自然増減			
	人口(年末)	転入	転出	増減	出生	死亡	増減	増減計
H22	41,177	1,087	1,240	△ 153	258	515	△ 257	△ 410
H23	39,560	1,206	2,064	△ 858	241	1,000	△ 759	△ 1,617
H24	39,421	1,340	1,235	105	250	494	△ 244	△ 139

３）大船渡市のいま



※大船渡公共職業安定所管内
(大船渡市・陸前高田市・住田町)

○震災前の有効求人倍率は0.5倍程度で推移
○H25.8の有効求人倍率は2倍超
○求職者数を見ると、震災前より現在の方が少ない。

３）大船渡市のいま

■雇用のミスマッチ

○高い有効求人倍率の一方で、求職と求人との間にはミスマッチも存在。

	有効求人倍率
事務職	0.44倍
サービス職（介護サービス）	0.89倍
運搬・清掃等	0.88倍

（H25.8大船渡公共職業安定所管内）

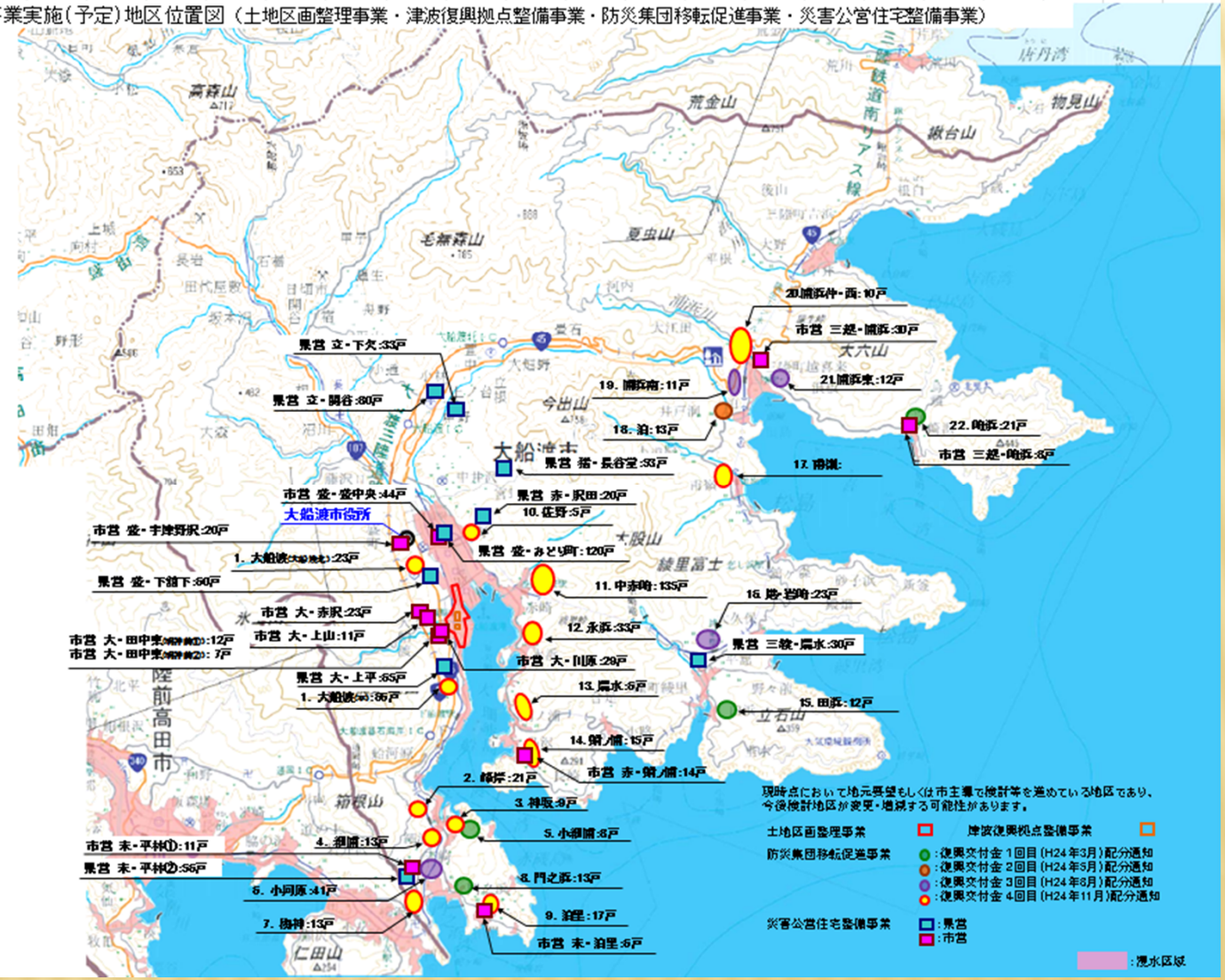
４）大船渡市の復興事業のあらまし

■大船渡市における復興に向けた各種事業

○大船渡駅周辺　　（区画整理＋津波復興拠点）
○防災集団移転　　（市内21箇所）
○公営住宅整備　　（県・市合わせて約800戸）
○自力住宅再建支援（補助金、利子補給制度等）
○漁集事業　　（跡地整備を含め地元要望に対応）
○グループ補助による事業所、商店の再建
○公共交通　　（鉄道復旧（当面BRT）、バス路線再編）
○学校、公民館、医療福祉施設等の再建　等々

４）大船渡市の復興事業のあらまし

■ 事業実施（予定）地区位置図（土地区画整理事業・津波復興拠点整備事業・防災集団移転促進事業・災害公営住宅整備事業）



４）大船渡市の復興事業のあらまし

■災害危険区域の指定

区域	想定浸水深	制限対象施設	
		住居の用に供する建築物	社会福祉施設、学校及び医療施設
第１種区域	概ね2.0m以上	建築禁止	建築禁止
第２種区域－Ａ	概ね1.0m以上2.0m未満	基礎上端の高さが道路から1.5m以上かつ地階に居室を有さない建築物は建築可能。1.5m未満の場合、強固な建物で居室が２階以上の建築物は建築可能	建築禁止
第２種区域－Ｂ	概ね1.0m未満	基礎上端の高さが道路から0.5m以上かつ地階に居室を有さない建築物は建築可能。0.5m未満の場合、強固な建物で居室が２階以上の建築物は建築可能	建築禁止
第２種区域－Ｃ	－	地階に居室を有さない建築物は建築可能	地階に居室を有さない建築物は建築可能

４）大船渡市の復興事業のあらまし

大船渡市における用地取得は比較的順調

↕

大槌町では江戸時代の所有者の土地や墓地等の取得に難航

大船渡市ではなぜこの問題が生じないか？

・高台の土地を求めるに当たり、交渉の難しい土地は避ける。

→「差込型」の防災集団移転なども効果的。

・地籍調査を100%実施済み。

→事前の備えも有効。

５）大船渡市の復興に向けた意識

■住宅再建支援の終わりは、<u>応急仮設住宅への入居者等がいなくなるとき。</u>

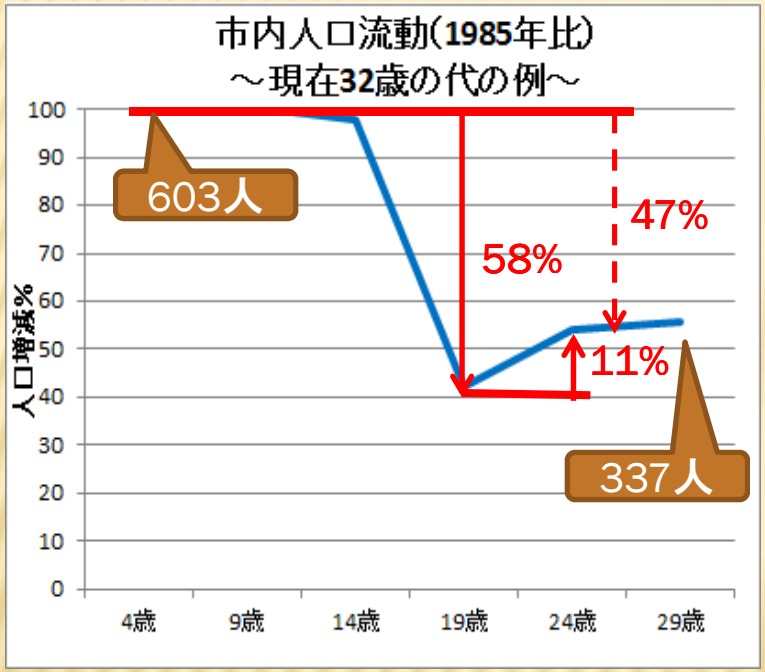
■応急仮設住宅の入居者等が、自宅を再建するなり、災害公営住宅に入居するなり、何らかの形で終の棲家を手に入れること。

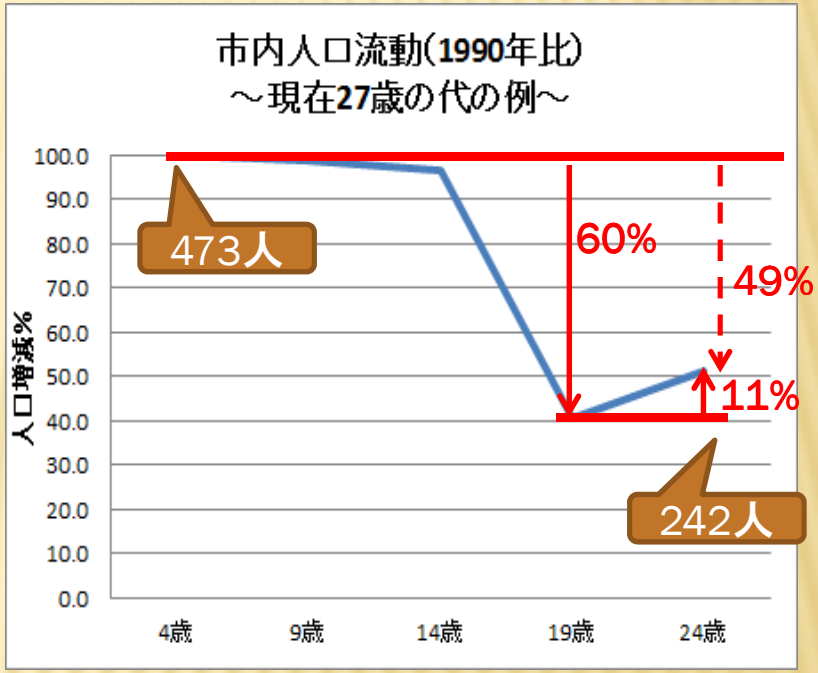
■では応急仮設住宅の入居者等（被災者）は今どういう行動を取っているのか？

・どんどん自力再建したり、防災集団移転に参加している人
・速やかに災害公営住宅に応募する人
・土地区画整理事業区域内で住居再建を待っている人
・<u>どうしていいかわからない人</u>　etc.

６）これからの大船渡市に向けて

■高校卒業後の市外流出





高校卒業時点で6割近くが流出。再流入は1割程度。

６）これからの大船渡市に向けて

■環境未来都市に選定（H23. 12）

・蓄電設備付帯メガソーラー発電所建設

・コンパクトシティ整備

・植物工場水産加工業EMS構築

・木造環境性能住宅団地モデル開発

・医療・介護先進モデル創出

■東北未来創造イニシアティブ（H25～）

・人材育成（道場設置）

・六次産業化

・観光振興

６）これからの大船渡市に向けて

■おおふなトン（PRキャラクター）

平成25年2月　PRキャラクター決定

平成25年5月　「碁石海岸観光まつり」でデビュー！

最近では首都圏をはじめとして県外へも進出！！

大船渡市HPに「おおふなトンの部屋」も登場。

ゆるキャラグランプリ2013出場

７）最後に

■災害復興を見据えた日ごろの意識付け

○気心の知れた遠い自治体の仲間をつくる

→いざというときには気心知れた人たちが必要。

→お祭りでも何でも良いので、平時から相互交流を。

○地域のコミュニティを強化する

→行政主導で事業を進めても対立構造が生まれる。

→地域同士で話し合える土壌整備を。

→あわせて専門家とのコミュニケーションも。

→仮設住宅段階でなるべくコミュニティを壊さない。

○仮の復旧・復興を止めない

→いったん切れてしまった事業は復活が困難。

→住まいのみならず、事業についても仮復旧・復興を。

７）最後に

【講演・投稿記事等】

- 震災から1年半　大船渡市のいま
  広がる東北地方とそれ以外の意識格差
  全国の皆さんにどうしても伝えたいこと　(H24.9.7)
  http://diamond.jp/articles/-/24416

- 2012年災害復興まちづくり支援機構記念講演会　(H24.11.30)
  http://www.j-drso.jp

- 復興に向けた明るい話題の裏にある
  予算があれば解決とはいかない課題　(H25.3.12)
  http://diamond.jp/articles/-/33145

- 平成２５年度Ｙフェスティバル講演（動画）(H25.9.15)
  http://www.youtube.com/watch?v=ockRkY-5buw